

事業所名 グループホーム あじさい作成日・平成23年 10月 31日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況（振り返り）」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に 要する期間
1	34	・急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	行方不明にならないよう安全の構築をし利用者全員に安心した生活を提供する。	一人で外に出てしまった時のための検索マニュアルを作成する。更に個別リストを作ることにより早期発見につなげる。	3ヶ月
2	24	・これまでの暮らしの把握 一人一人の一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人一人が張り合いのある生活を送ることができるよう支援する。	各担当者が基本情報やご家族の話を聞きながらサマリーを作成する。全職員に周知する。	3ヶ月
3	35	・災害対策 火災や地震、水害などの災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	夜間時に災害があっても安心・安全な生活を送ることができるよう支援する。	毎月の避難訓練実施の中に、夜間時を想定し訓練する。その際、近所の方の協力をお願いする。	3ヶ月
4	40	・食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人一人の好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	みんなで献立を考え、一緒に準備し楽しく食事ができるよう支援する。	一人ひとりのできること、できないことを把握し、その能力を作業内容に合わせ発揮してもらう。	3ヶ月
5	13	・職員を育てる仕組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員一人一人のスキルアップをめざし、利用者への支援がより質のよいものになるよう向上する。	内部研修・外部研修等に職員が自主参加できるよう年間計画表を作成し、希望を聞きながら自己啓発に努める。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。